

【設問Ⅱ-2】 次の2設問（Ⅱ-2-1、Ⅱ-2-2）のうち1設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し、答案用紙2枚以内にまとめよ。）

年次	Ⅱ-2-1	Ⅱ-2-2
H30	<p>市街地周辺で、4車線の国道上に4車線の高速道路を高架で新設する道路設計が進められている。これに併せて、新設する2車線の県道が国道と直交する信号交差点も検討することになった。この交差点の計画・設計を担当する責任者として、下記の内容について記述せよ。なお、高速道路の橋脚は単柱で中央帯に設置予定であり、右折車線は県道及び国道ともに設置可能である。</p> <p>(1) 計画・設計の基本的な視点 (2) 業務を進める手順 (3) 当該交差点計画での視認性に関する留意事項</p>	<p>無電柱化は重要な施策であり、近年の災害の激甚化、高齢者・障がい者の増加、観光需要の増加等からさらに必要性が増している。中核市において無電柱化の計画・設計を担当する責任者として、下記の内容について記述せよ。</p> <p>(1) 無電柱化を優先整備すべき対象道路の選定の考え方 (2) より効率的に無電柱化を推進するために検討すべき事項 (3) 設計・工事を円滑に進めるための、様々な着目点による取組</p>
H29	<p>A市では、バイパス整備が完了し市内の交通状況に変化が生じていることから、中心部の4車線の幹線道路について、歩行者と自転車の輻輳による危険性や様々な地域課題の解決に向け、道路空間の再配分を検討することとなった。この検討業務を担当する責任者として、下記の内容について記述せよ。</p> <p>(1) 事前に調査する事項 (2) 業務を進める手順 (3) 業務を実施する際の工夫や留意事項</p>	<p>地下水位の高い都市部において、土被り10m程度の地下式の道路が計画されており、事業実施に際し、地下水の流動阻害による影響が懸念されている。この事業を設計段階において担当する責任者として、当該影響に関して、下記の内容について記述せよ。</p> <p>(1) 地下水の流動阻害により、上流側及び下流側で想定される周辺への影響 (2) (1)の影響を踏まえ、事前に調査すべき事項 (3) 対策を検討する手順と、その際の留意事項</p>
H28	<p>A市では、市街地において自転車の利用ニーズが高まっていることから、安全で快適な自転車通行空間の効果的な整備を推進するため、自転車ネットワーク計画を作成することとなった。この業務を担当する責任者として、下記の内容について記述せよ。</p> <p>(1) 事前に把握・調査すべき事項 (2) 自転車ネットワーク計画を作成する手順 (3) 既存道路において、自転車通行区間の整備形態を選定する際に留意すべき事項</p>	<p>高架式道路において、渋滞対策を目的とした道路拡幅事業が計画されており、既設の下部工に近接した基礎工事が必要となっている。この工事の設計を担当する責任者として、下記の内容について記述せよ。</p> <p>(1) 事前に調査すべき事項 (2) (1)の調査を踏まえ、近接施工に関して工事着手前に検討すべき事項 (3) 既設構造物に及ぼす影響を軽減するための、様々な着目点による対策手法</p>

年次	II-2-1	II-2-2
H27	<p>近くに小学校や鉄道駅があると都市部の住宅地域を通過する4種2級の2車線道路が計画されている。この道路計画の担当責任者として、下記について述べよ。</p> <p>(1) この道路に必要な横断面構成要素と各々の要素が持つ機能</p> <p>(2) この道路計画の立案に際して、「沿道住民」、「歩行者」及び「自転車利用者」の視点で、それぞれ2つ以上の留意点</p>	<p>2020年の東京オリンピック・パラリンピックに備えて、首都圏を中心にインフラ整備が進められることとなるが、一方で、それに伴う大量の建設発生土の処理が課題となっている。都市部で大規模なトンネル工事を計画する担当責任者として、下記について述べよ。</p> <p>(1) 建設発生土を有効利用する上での課題（なお、課題は2つ挙げそれぞれの内容を述べること。）</p> <p>(2) (1)の課題を踏まえ、当該工事の建設発生土を有効利用するための方策と留意点</p>
H26	<p>我が国の道路構造物は、今後、補修や更新を行う必要性が急激に高まってくるが見込まれており、維持管理の業務サイクル（メンテナンスサイクル）の構築が極めて重要である。維持管理の担当責任者として、下記について述べよ。</p> <p>(1) 道路橋における代表的な損傷原因である疲労、塩害、アルカリ骨材反応のうち2つについて、各々の概要</p> <p>(2) メンテナンスサイクルの構築に必要な基本的事項が法令上位置付けられたことを踏まえ、点検、診断、措置、記録のうち点検、診断の段階で、各々実施すべき対応</p> <p>(3) メンテナンスサイクルを持続的に回すために、体制、技術各々の観点から見て必要と考えられる仕組み</p>	<p>「道の駅」は道路利用者へのサービス提供の場として重要な役割を果たしてきたが、近年では多様な機能を有する地域の拠点としての役割も担っている。「道の駅」の計画・運営・更新を行う担当責任者として、下記について述べよ。</p> <p>(1) 「道の駅」を設置する際、道路利用者へ適切なサービスを提供する観点から、備えるべき施設構成と提供サービスについて、各々の概要</p> <p>(2) 「道の駅」が地域の拠点として果たしうる役割を2つ挙げ、それらをより充実させるための具体的な取り組み</p>
H25	<p>交通事故の大半は交差点及びその付近で発生していること、また、交通渋滞の多くは交差点を先頭に発生していること等から、道路交通を安全かつ円滑に処理する上で、交差点をいかに適切に計画・設計・運用するかは極めて重要である。交差点改良計画の担当責任者として、下記について述べよ。</p> <p>(1) 業務を進める手順とその内容</p> <p>(2) 改良計画の立案に際して、交差点形状を適正なものにする観点から留意すべき事項（2つ以上）と、各々の考え方</p>	<p>路上工事を円滑に実施するためには、当該工事の特性を踏まえ、様々な事柄への配慮が必要である。市街地の幹線道路における路上工事の担当責任者として、下記について述べよ。</p> <p>(1) 事前に把握すべき事項とその内容</p> <p>(2) 工事を進める上で採るべき対策地とその内容</p>